

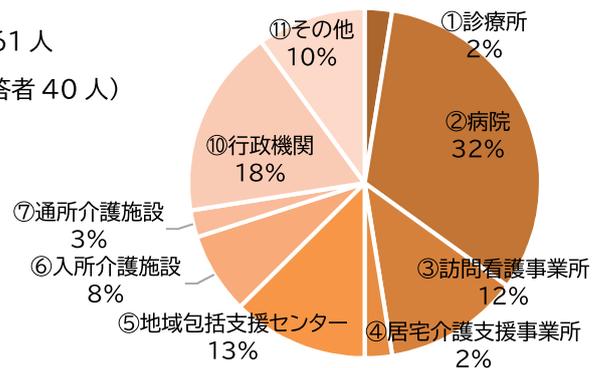
# 令和6年度石巻圏域在宅医療・介護連携推進研修会

【日時】 令和7年2月20日（木）  
午後6時半から午後8時15分まで

【場所】 石巻合同庁舎1階 大会議室

【対象】 石巻圏域（石巻市、東松島市、女川町）  
の在宅医療・介護関係職員等

参加者 61 人  
(アンケート回答者 40 人)



## 【内容】

### (1)報告:石巻圏域の在宅医療・介護関係機関におけるACPの取組状況調査結果

担当:宮城県東部保健福祉事務所 高齢者支援班

- 令和6年12月～令和7年1月に標記調査を実施。回答率は62.8%（91施設／145施設）。
- ACPに関する取組について、82.4%は何らかの取組を行っていた。宮城県東部保健福祉事務所では、今後も3市1町を対象に、取組状況調査や専門職向け研修会等を継続していく方針。

### (2)講演:「“ACP”なんとなく知っているを卒業して実践につなげよう」

講師:公益社団法人地域医療振興協会 君津市国保小櫃診療所 所長 望月崇紘 医師

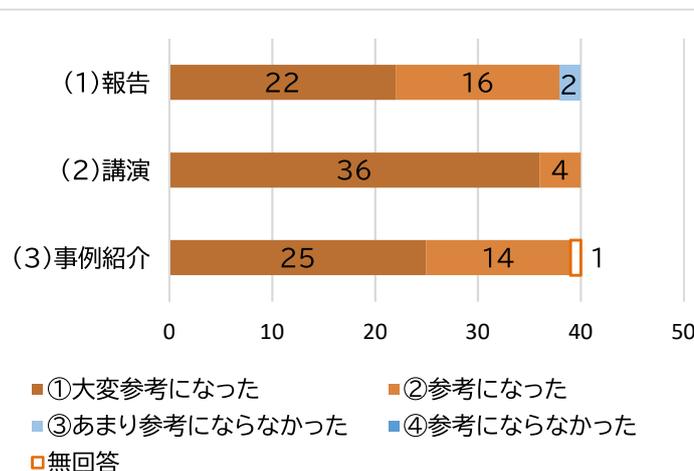
- ACPとは、「代理決定者達がイタコになる準備をするプロセス」。事前に文書で残すということにこだわらず、代理決定者が、本人の意向や大切なことをあらかじめ話し合うプロセスが重要である。
- コメディカル職員を含むチームで関わり、「本人の大切にしていることは何か」を共有することで、本人がどのように選択したいかが見えてくる。

### (3)講演:「石巻健育会病院の意思決定支援の取り組み」

講師:医療法人社団健育会 石巻健育会病院 庄司正枝 看護部長

- 石巻健育会病院で取り組んでいる「つなぐノート」を御紹介いただいた。医師の監修を受けて作成し、病院全体で取り組んでいる。まずは各病棟棟長がロールモデルとなって始め、実施者を広げていった。
- 入院時に全患者にパンフレットを配布すること、外来待合室にて説明動画を流すことで、ACPを話題にするきっかけ作りを工夫している。また、法人内施設から、地域に広げる取組を始めている。

## 【アンケート結果】



## 【感想】

○どのようにACPを進めていいかわからない状況であったため、段階を経ることやきっかけづくり等参考になった。

○実際のHPでの取組について学ぶことができてよかった。各々の機関でできること、連携できることを再度考えたい。

○多職種での連携の必要性を学んだ。参加者間での意見交換の場があると良いのではと思った。